

# 独歩・協働

津島市立神守中学校  
第3学年 学年通信 最終号  
令和4年3月1日発行

## 卒業式を迎えるにあたって - 贈る言葉 -

今回が最後の学年通信です。3年生に向けてのメッセージとしてお読みいただければ幸いです。

いよいよ卒業式を迎えます。みなさんはどのような思いで卒業式を迎えますか。また、おうちの人にはどのような思いで卒業式に出席されると思いますか。みなさんは神守中学校で3年間生活をしてきました。楽しかった思い出、辛かった思い出、感動した思い出、頑張った思い出など、さまざまな出来事に思いを巡らすことだと思います。しかし、それ以上に15年間おうちの人に大切に育ててもらったことや、家族があり今の自分があることを決して忘れてはいけません。赤ちゃんのとき、何度も夜中に起きてミルクを飲ませてもらったことやおむつを替えてもらったこと、病気にかかったとき看病してもらったこと、真剣に叱ってもらったこと、悩んでいるときに一番の味方になってもらったこと、みなさんは心から愛され育てられて今の自分があるのです。卒業式を迎えるみなさんにできること、それは感謝の気持ちを伝えること、そして立派に成長した姿を見てもらうことです。

卒業証書を授与される時、担任の先生から一人一人の名前が読み上げられます。この時、みなさんは「はい」と返事をしますが、この短い二文字の言葉には大きな意味が込められています。「はい」という返事から、卒業証書を授与され、会場を歩き、着席するまでの数分間、おうちの方は、みなさんを見ています。これまでの15年間を思い出し、立派に育った姿を見て思いを巡らすのです。15年前みなさんが生まれたときに願いを込めてつけられた名前を、全員の前で呼ばれることはおうちの人にとってとても嬉しく誇らしいことです。おうちの方の気持ちに伝えるように「自分はここまで成長しました。ありがとうございます」という気持ちをもって、しっかりと返事をしましょう。そして、会場内を歩くとき、胸を張って堂々とした姿を見せましょう。それが、みなさんからおうちの人への「贈る言葉」です。みなさんの晴れ姿を心から楽しみにしています。卒業おめでとう！末永い幸せな人生を送ってくださいね。

最後になりましたが、保護者の皆様へ。入学からはや3年経とうとしています。神守中学校の教育にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。3年職員がお子様を支援していくにあたり、将来幸せな人生を送ってもらうための土台として、「よいことはよい」「いけないことはいけない」と伝えてきたつもりです。また、「独り立ちできるよう」、「他と協力して生きていけるよう」教えてきたつもりです。保護者の皆様の思いに対して至らぬ点も多々あったかと思いますが、温かく見守っていただき感謝の念に堪えません。いよいよ卒業式を迎えます。お子様の立派に成長した晴れ姿をしっかりと目に焼き付けていただければと思います。そして、めいっぱい祝福してあげてください。3年間本当にありがとうございました。

